

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 3 回 定例委員会
日 時	令和3年3月26日 自 15時00分 至 16時11分
場 所	第2庁舎1階会議室
出 席 委 員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹 委 員 高 橋 憲 司
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 郁 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 田 中 真 奈
事 務 局 職 員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 池 田 健 人 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 学 校 教 育 課 長 神 保 英 士 生 涯 学 習 課 長 林 崎 竹 亜 美 術 博 物 館 館 長 武 田 正 哉 総 務 企 画 課 主 査 矢 部 妙 子 総 務 企 画 課 主 事 田 中 真 奈
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（五十嵐教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3 会議録の承認
（五十嵐教育長） 第2回定例教育委員会（令和3年2月5日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（五十嵐教育長） 令和2年度は、年度開始後、間もなく、学校の長期臨時休業を余儀なくされるなど、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた、波乱の1年でありましたが、市内小中学校においては卒業式が、中学校は3月13日に、小学校は19日と22日に、感染症対策を講じた中で開催されました。また、24日には全ての学校で修了式が行われ、今年度の学校教育活動を終えることができました。ウイルスという見えない敵を相手に、様々な困難を乗り越えた子どもたちに、またご理解とご協力をいただいた保護者の皆さんに、そして校長を始めとする教職員の頑張りに対して、感謝の気持ちで一杯です。現在、各学校では、4月からの学校経営、教育活動が順調にスタートすることができるよう、異動の有無に関わらず、教職員それぞれが準備を進めているところです。

<p>それでは、2月5日の定例教育委員会議以降の主な事業について報告します。</p>
<p>2月18日から3月12日まで、第13回市議会定例会が開催されました。初日に、市長の市政方針に続いて、私から令和3年度の教育行政執行方針演説を行い、これに対する6つの会派の代表者による代表質問が25日、26日の2日間、行われました。</p>
<p>議員の質問項目は、不登校問題、ICT教育、学校の働き方改革など多岐にわたっていましたが、学校給食について、4人の議員が取り上げました。現在、第2学校給食共同調理場の改築工事の最中ですが、今年秋には建物が完成し、来年1月から新調理場の供用を開始し、副菜を含めた安全で安心な給食を提供する旨、答弁しています。</p>
<p>教育費の予算案については、3月5日と8日の2日間、予算審査特別委員会で審議され、原案どおり可決されました。また、10日の文教経済委員会において、末広町地区の通学指定校の変更について経過を報告しています。</p>
<p>3月7日、白鳥王子アイスアリーナで行われたアイスホッケーの教育委員会杯市内小学校新人戦大会の表彰式に出席してきました。5年生以下の児童によって熱戦が繰り広げられていました。私は、決勝戦を途中から観戦しましたが、ゴールキーパーを含めて女子選手の活躍が目立っていたように思いました。</p>
<p>10日、澄川小の白崎健策教諭が、山上胆振教育局長から胆振管内教育実践表彰を受けました。体育専科教員として学習指導要領を踏まえた体育科の指導方法や評価方法について授業実践を積み重ねたことや体力向上ボトムアップ事業の実践を通じて児童の体力、運動能力の向上に成果を挙げたことなどが受賞理由となっています。また、泉野小の河毛留美教諭が、道徳の教科化に向けた授業づくりや研修講師としての道徳教育の指導力向上の功績などが認められ、昨年の北海道教育実践表彰に続いて、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞し、東峰校長とともに昨日、私のところに報告に来てくれました。お2人には心から祝意を表するとともに、今後とも研鑽を重ねて、子どもたちの豊かな人間性と健康な体を育むため、また他の教員の模範となり、本市の教育力向上に力を尽くしてしてほしいと期待しています。</p>
<p>最後に、異動についてです。学校教職員については、3月5日に胆振教育局から内</p>

示があり、教育委員会事務局職員については、3月18日に消防本部から、また昨日、市総務部から、令和3年度当初人事異動の協議等がありました。本日の会議次第の6報告・協議の第4号及び第5号は、これらの人事異動に伴う報告です。いずれも委員会の会議を開催する暇がなかったことから、教育長の臨時代理により、教育局への内申、市長部局等への機関協議の処理を行いましたので、後程、報告をさせていただきます。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 末広町地区の通学指定校変更について

(教育部斎藤次長) -末広町地区の通学指定校変更について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。前回の総合教育会議でご意見を伺っておりますが、新しく確認しておきたいこと等はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。5月の定例教育委員会議で決定をすると説明がありましたが、その後、実際に令和4年4月から校区が変更になると思いますが、5月の定例教育委員会で決定された後の具体的なスケジュールを補足説明していただければと思いますがいかがでしょうか。

(教育部斎藤次長) 正式に決定した後、毎年9月から10月にかけて学校教育課から新入生へ就学時健診の案内をします。その時に、初めて令和4年4月からの入学生は東小学校になるということを案内します。在校生については、大体10月頃の同じ時期を目途に、学校と協議をしながらになりますが、意向調査をさせていただきます新年

度に向けて、意向を把握するという流れで考えています。

(五十嵐教育長) わかりました。委員の皆さんから何か質問等ないでしょうか。

(齋藤委員) 特にこの変更については、適切な処置だと思っておりますので問題ないかと思っております。ただ、やはり若草小学校の保護者については、不安だとか学校に馴染めるのかだとか、不安感がとても強いと思います。それだけではなく、東小学校が東中学校と同じ校舎になったことにより、なおさら若草小学校の保護者の方からすると、取り残されているとまでは言いませんが、不安感があるように感じていますので、この校区の見直しにより、新しい校区になった後でも、ここにも記載していますが、苫小牧ALL9の1エリアとして、若草小学校も東小学校も学校の活動の中で、一緒に勉強をするだとか一緒に活動をするだとかというのを積極的に行っていただきたいという要望です。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。他にございますか。

(高橋委員) 確認ですが、資料2ページの表は、次年度の人数ということでしょうか。また、末広町には東小学校の在校生の人数が入っているのですが、今現状としては、在校生はそのまま若草小学校に通う方が多いのかということも、もしわかれば教えてください。

(教育部齋藤次長) この表の6歳が今年、入学する児童です。5歳の子が令和4年4月に入学することになります。在校生をまとめて動かした場合のシミュレーションを記載していますが、在校生については、特に高学年については、ほとんど動かないと見ております。意向調査をしてからの結果になりますが、在校生はほとんど動かないと考えております。

(高橋委員) わかりました。

(五十嵐教育長) 他にありませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第1号は原案どおり決定いたしました。
第2号 苫小牧市立学校における働き方改革取組方針について
(学校教育課長) -苫小牧市立学校における働き方改革取組方針について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(高橋委員) 特に今年度はコロナ禍ということで、学校も教職員の方もご苦労された1年だったと思います。私たち保護者も、なかなか先生方と会う機会が少なく、誤解を与えてしまったりだとか、対応に関して行き届かないことがあったりだとか、これはお互いのことなのですが、PTA活動もまともにできない1年間でした。この取組に関しては、どちらかというと教員たちが今までやってきたことを考えると、何かを削らないとその時間にあてられないことが続いている中で、当たり前のことだと思っています。ここにも書いてあるとおり、地域の人や保護者の方で出来ることを転換するだとか、取組の中に書いていますが、一体感を持ち行っていくだとかということ、まずはお互い話を進める必要性が非常に強いと思っています。地域の方へきちんとわかる説明が求められると思っています。学校により規模等も違いますので、なかなか難しいことだとは思っていますが、是非、この取組を進めるにあたって誤解のないように、学校の先生は何でもやってくれると思っている市民の方もいらっしゃるかもしれませんので、そこに関しての説明を丁寧にしていただければと思っています。
(五十嵐教育長) 今のご意見についていかがでしょうか。

<p>(学校教育課長) 今年度に関しては、新型コロナウイルスの関係で学校の中への出入りも制限され、PTAの活動も自粛となり、なかなか地域との関わりがなかった年度でありました。本来であれば、もう少し地域の方と密接な関係作りをしながら、学校運営をしていくというのが本来の姿であると思いますが、新年度に関してもまだ見通しが立たない状況だと思います。そのような中、コミュニティスクールのことを謳っているのですが、コミュニティスクールの組織というのが、保護者の方、地域の方も入っていただく組織になります。これをなんとか全校に導入していきたいと思っ いまして、今、似たような組織があるところもありますので、そこうまくタイアップした形でできないかというのを、新年度、検討をしていきます。令和4年度からすぐに導入できるかはわかりませんが、早期に導入ができるように新年度から検討していきたいと思っていますので、導入できれば地域との関係ももう少し密になっていくのかなと思っています。</p>
<p>(高橋委員) 実際どのような形で、展開されるのかということが見えていない中で、手探りなのかもしれませんが、是非、現場の意見を大切にしながら臨機応変に対応していただければと思います。</p>
<p>(五十嵐教育長) わかりました。他にいかがでしょうか。</p>
<p>(齋藤委員) 今までの教育委員会の中で、働き方改革のことが何度か議題に上がり議論してきましたが、今回、このような方針が出たことによって1年間通してどのような改善点があって、どのような問題点が残ったかということ、精査し、また報告していただきたいと思っています。今回の方針自体には、何も要望等もなく、うまく進んでいったら良いなと思いますが、現場の方々との温度差や保護者の方、市民の方の意識の問題も出てくると思います。以前、お話を伺ったときには、先生方はやはり、子どもたちのために精一杯のことをやりたいので、どんなにだめと言われても走り続けてしまうという話も聞きましたので、保護者としてはとても感謝すべきことなのですが、このご時世ですので、この方針がでることによってどのように改まって、どうい う問題は改善していかなければならないのかということ、終わった後に報告してい</p>

ただければと思います。
(五十嵐教育長) 検証結果を報告する場面は、ありますよね。
(学校教育課長) はい。今年度から、先生方の出退勤を管理するシステムを導入しています。今年度末時点で、どうだったのかというのを検証するために、データを集計しようと思っています。その中で、1ヶ月45時間、1年間で360時間というのをどれだけ守られているのかという検証を必ずしなければならないと思っていますので、まず新年度早々に報告したいと思っています。あとは、各学校でも業務改善として見直しをしていく中で、例えば職員会議を減らすなど、働き方改革という取組を各学校それぞれいろいろなことを考えて行っていただいていると思っています。ただ、そうとは言ってもやはり子どもたちのためというところで、長時間の勤務になっている方が、中にはいらっしゃるというのもあるので、そこをどのようにカバーしていくかという課題は残るのですが、各学校で様々な取組を一生懸命行っていただいております。意識は浸透してきているのかと思っています。
(齋藤委員) ありがとうございます。
(五十嵐教育長) 他にいかがでしょうか。
(佐藤委員) 数字が組み込まれ、具体的な方針だと拝見しておりました。ただ、いろいろなことをしなければならないという中で、学校と私生活の時間の管理の仕方が難しくなるのだろうなと思っています。先生方は自分でやらなければならないところもあると思うのですが、学校の中だけが先生方の時間なのか、家に帰って教材の研究をしたりだとか、準備をしたりすることもあると思います。そのあたりのところもどこまで、考えていけるのかというところが、やはり時間管理の難しさだと思います。検証され、分析されると思いますので、線引きは非常に難しいと思いますが、重なるところをどう見ていくかによって時間というのが変わっていくと思いますので、いろいろなケースがあるかと思いますが、よく分析していただきたいと思っています。
(五十嵐教育長) ありがとうございます。他にないでしょうか

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第2号は原案どおり決定いたしました。

第3号 苫小牧市学校評議員の委嘱について

第4号 図書館協議会委員の任命について

(五十嵐教育長) 議案第3号、議案第4号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、会議の日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、議案第3号、議案第4号を秘密会とし、日程の最後に審議を行うことに決定いたします。

6 報告・協議

報告(1) 明德小学校と錦岡小学校の統廃合に関するアンケート結果につ

いて
(教育部斎藤次長) -明德小学校と錦岡小学校の統廃合に関するアンケート結果について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(佐藤委員) 勉強する環境に関係すると思いますのでお伺いしますが、その他、自由意見のところ「学校も準備が出来ておらず、教室が足りない、教材も足りないと先生が言っていた。」と記載がありますが、それは、補充されただとか教える側の心構えも関係してくると思うのですが、どのように対処されたのでしょうか。または、していくのかというところで、分かる範囲で教えていただけますか。
(教育部斎藤次長) 4月当初、明德小学校から必要な物品等、全部引っ越しをしたと思っていまして、先生個人の印象だったのかもしれませんが、他の学校と比べて、何か足りないという状況ではなかったと思います。
(佐藤委員) 安心しました。ありがとうございます。
(五十嵐教育長) その他、何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
報告(2) 勇払弁天海岸で発見された丸木舟について
(美術博物館館長) -勇払弁天海岸で発見された丸木舟について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。この後、まだはっきりしていないことが多いと思いますが、今、年代測定を依頼しており、約2ヶ月かかることですが、年代測定の結果が出たら、どのような動きになっていくのでしょうか。わかる範囲でお聞きします。
(美術博物館館長) 年代測定が、速報値で2か月かからないで出ると思うのですが、それが出た後、正確な数値が2か月後に出る予定となっております。我々が考えているのが、苫小牧周辺に当館に収蔵しております、北海道指定文化財の5艘を含め、今回の2艘、さらに埋蔵文化財の発掘の過程で出てきたものもございまして、これだけ集中している、当時のおそらく江戸期以前のこのあたりの交通の要衝としての勇払地区、そのあたりの調査を行えるような体制をとれば良いと思っています。同時に、皆さんにご覧いただくまでには、まだまだ保存処理に必要な時間が求められますので、そういったあたりも検討を行っていただければと思っております。
(五十嵐教育長) その他、委員の皆様からは何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
報告(3) 教育委員会職員の処分について
報告(4) 教職員の人事異動に係る内申について
報告(5) 教育委員会職員の人事異動に係る協議について
(五十嵐教育長) 報告第3号、報告第4号、報告第5号につきましては人事案件で

ございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、会議の日程の最後に審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、報告第3号、報告第4号、報告第5号につきましては秘密会とし、日程の最後に審議を行うことに決定いたします。

(五十嵐教育長) これより、先ほど秘密会と決定しました議案第3号、議案第4号、報告第3号、報告第4号、報告第5号について審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

(五十嵐教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、議案第3号、議案第4号につきましては、原案どおり決定し、報告第3号、報告第4号、報告第5号につきましては報告どおり終結しましたことを申し添えます。

7 その他

(五十嵐教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言（五十嵐教育長）・・・16時11分